

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 30 年度 第 7 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 31 年 1 月 10 日 午後 6:45～午後 8:00
 - 2.開催場所 東京大学工学部本郷キャンパス 14 号館 3 階 321 セミナー室
 - 3.理事総数 13 名
 - 4.出席者数 5 名（書面表決書 5）
出席者（山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、池上孝則、小林均 敬称略）
書面表決書（前河洋一、鈴木良雄、森川貞夫、岩山海渡、高橋慎一 敬称略）
 - 5.議長選任 議長として山西哲郎氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（12 月 20 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として宇佐美彰朗氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第 3 号議案 第 9 回市民ランナー交流セミナーについて
懸案事項、当日の準備事項、役割分担等について審議した。
- 理事、会員の参加状況
参加有無の連絡をお願いしており、現時点で連絡を頂いているのは下記の通り。
（参加）山西、池上、前河、高橋、黒田
（不参加）宇佐美、小林
 - 講師等謝礼について
有料参加者 60 名を想定し、薄謝ではあるが、2 万円を予定している。
 - 集客について
新宿シティハーフマラソンの参加者に対して、近日中に事務局から関連イベントとして告知して頂けることになっている。
その他、各理事を通じて旧アミノバリュー千葉、旧アミノバリュー埼玉、不忍池 AC、ベアリス RC、慎ちゃんと奥地を走る RC、フル百回楽走会などに案内をしている。
また、立正大学には後援をして頂けることになったので、山西理事長を通じて学生に対しても参加の呼びかけを行っている。なお、立正大学学生は参加費無料とする。
当日参加でも構わないので、ギリギリまで参加の呼びかけは行すが、準備の都合もあるので、1 月 20 日(日)時点で参加者の確認をしておくことになった。
 - 後援等について
立正大学からは了承頂いたが、スポーツ庁からはまだ回答がないので最終確認中である。
その結果を実施要項に反映させたものを最終版ということにする。
なお、立正大学陸上競技部駅伝チームには運営を協力していただくことになったが、実施

要項等には掲載はしないことになった。

■役割分担等について

【受付】：池上氏、保原氏

- ・ネームプレートは作成せず、ケースのみ用意して、名刺を入れて貰うことにし、名刺がない人は手書きのカードを入れて貰う。

参加者リストおよび領収書は保原氏が準備するので、事前申込者は事前に保原まで連絡をお願いしたい。

- ・配付資料は皆さんに送付してある「案内書」のみを考えている。

【講演会、シンポジウムの進行】山西理事長、黒田氏

- ・総合司会は黒田氏が担当する。
- ・全体調整は山西理事長にお願いすることとし、コーディネーターの船原氏や君原氏、澤木氏との事前調整ならびに当日の事前ミーティング等についてもアレンジして頂くことになった。

プロフィール等配布する資料等があれば、連絡頂ければ池上氏、保原氏が準備する。

【会場準備等】池上氏、保原氏

- ・シンポジストの名札（シンポジウム時使用）は保原氏がA4版を作成し、池上氏がA3版等に拡大。
- ・セミナータイトル、タイムスケジュールはパワーポイント等で池上氏が作成し、開始前にプロジェクターで映写することにする。

【補助員】立正大学陸上競技部駅伝チーム

- ・会場案内、受付等の補助をお願いすることにした。

第4号議案

フィリピンマラソン選手の支援活動について

メリー・ジョイ・タバル選手は、2017年～2018年にかけてイタリアのトスカーナ・トレーニングキャンプでトレーニングしていたが、諸事情により、2019年は日本でトレーニングしたい旨連絡があった。

したがって、前回同様、日体大の女子駅伝部と一緒にトレーニングできるように準備中である。詳細の来日予定が連絡あり次第、日体大に対して手続きを進めたい。なお、トレーニングはリオの時と同様、宇佐美先生の計画に基づいて日体大で行うことになる。

第5号議案

来年度の協会運営について

懸案事項について審議した。

■主たる事務所について

鈴木氏から紹介頂いた(株)ドーム執行役員・青柳氏からはその後3ヶ月間何の連絡もないので、宇佐美副理事長の「宇佐美マラソン・スポーツ研究所」に同居させていただくことになった。

■役員改選について

以前決めたとおり、原則としてはあと2年継続して頂けるように依頼する。ただし、ご本人から辞任表明があった場合にはこの限りでない。

■運営資金について

メルボルンマラソンの事業収益が約20万円の赤字だったため、内部留保は20万円を切った。来年度支払わなければならない収益事業に係わる法人住民税7万円および下期分の未払い経費を考慮するとほぼ底をついた状況である。

当面は、年会費未収金の6万円の納入をお願いするが、経営の健全化について真剣な議論をする時期に来ているので、次回以降、継続審議することになった。

■事業計画について

各種ランニング教室については継続予定であるが、メルボルンマラソンについては2月末を目処に、アラフラゲームズについては1月末を目処に検討中である。

第6号議案 その他

■2019静岡マラソンについて

大会事務局から、宇佐美氏には前日のトークショーおよびミニクリニックを、喜多氏には前日のトークショー、レセプションおよびマラソンのゲストランナーをお願いしたい旨、連絡があった。

■次回理事会について

次回理事会を2月21日(木)の18時30分から東京大学工学部14号館で開催することになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時00分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成31年1月10日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 山西 哲郎 

議事録署名人 宇佐美 彰朗 

議事録署名人 保原 幸夫 